

# 3つの柱



## まちに活力、人に安心、 魅力あふれる都市づくり

令和3年度における市政運営の  
基本方針および未来を見据え、輝  
く古河市を創造するための主要施  
策等の概要について説明します。



古河市長  
針谷 力

### 1つ目の 柱

## 市民の安心感

### 新型コロナウイルス感染症対策

感染症対策の決め手と期待されるワクチン接種につきましては、接種に関する正確な情報提供に努めるとともに、市民の皆さんが一日でも早くスムーズに接種が受けられるよう、古河市医師会のご協力を得ながら取り組みます。また、追加の経済対策につきましては、感染拡大の状況を踏まえ、国や県の支援策と連携するなど、実効性の高い事業を立案し、適時適切に実施します。



### 防災、減災、国土強靱化への対応

防災、減災、国土強靱化につきましては、小中学校をはじめとした公共施設の老朽化対策を実施し、市民が安心して利用できる施設づくりを取り組みます。特に、老朽化が著しい中央公民館につきましては、周辺公民館等の機能の集約を図りながら、(仮称)総和地域交流センターとしての整備計画を策定します。

### 2つ目の 柱

## 都市の成長力

### 新たなプロジェクトの推進

圏央道境古河インターチェンジ周辺における企業の高い立地ニーズをチャンスと捉え、県の「未来産業基盤強化プロジェクト」支援事業を活用し、新たな産業用地の開発に取り組みます。雇用の創出と地域経済の活性化を目的に、新型コロナウイルス感染症の収束を見据えた未来へつなぐプロジェクトを進めます。

また、県西の中心にふさわしい都市づくりのため、将来を展望し、文化施設の建設に向けた取り組みを開始します。市民の文化芸術活動の拠点や都市間交流の舞台としての整備を検討します。

このほか、民間事業者の知恵やノウハウの活用により、まちのにぎわいの創出につながるような新しいプロジェクトの可能性を探っていきます。



### 3つ目の 柱

## 都市の持続性

### デジタル化への対応

国では9月1日に、デジタル庁の開設を予定しています。これにより国や地方自治体のIT化やデジタル・トランスフォーメーション計画の本格的な取り組みが始まります。



こうした中、市では令和3年度に、国の推進計画を踏まえ、市独自のIT戦略プランを策定します。デジタル化時代の市民サービスの向上や行政運営の効率化に向けて、民間企業との連携を図りながら、行政手続きのオンライン化やさらなるAI、RPAの導入推進に取り組みます。

また、古河ケーブルテレビ株式会社と締結した地域BWAの活用に関する協定に基づき、古河駅周辺の4つの公共施設において、4月からFree Wi-Fiの運用を開始します。その後も順次、対象施設の整備を進めます。